安全研修資料

２０１９年１２月２３日 作成
２０２０年０1月１６日 追記

会 員 各 位

安 全 指 針

グリーンボランテイア
「森 林 づ く り 三 重」
会 長　池 田 輝 明

先日（12 月 21 日（土）の連絡会で事故について協議しました。
過去の事故例も踏まえ小生なりに安全指針を書きました。

安全指針関係は何度も発信していますが、実行が大事なので、日頃から安全意識を持ち行事を実施していただきたくお願いいたします。

時折安全研修等を行い不備な点を反省する。

また、本文には不備な点け欠落点も多いかと思いますが、各フィールド、行事において現場の状況に応じた安全指針を作成し、実施願います。

・フィールド作業または依頼作業にかかわらず（安全面から考え）を超えた作業は行なわない。
　依頼作業途中で無理と考えた場合は依頼者に申し出て中止とする。
・始業前、互いにヘルメット等の服装チェック。
・本日の作業手順、役割分担、危険作業・個所の周知。
・伐倒に対しては、伐倒者以外は木の高さの 2 倍以上のところに退避し、注目する。
　（携帯電話などに出ない）
・ワイヤー・チルホール、ロープで使用の際は引く人はこの高さの 2 倍以上のところから　操作するか、
　滑車を使って、伐倒木より後ろ側（伐倒方向の反対側）から操作する。
　また、必要に応じ 2 本以上のワイヤで引く。
・危険を感じたときは作業を中止し、安全確認をする。
・伐倒者は伐倒直前に呼子で（持参なきときは大声で）周りに知らせる。
・同時に 2 名以上、伐倒木の枝切、玉切をしない。
・心身が披露してくる行事終終盤には伐倒等の危険作業をしない。
・行事終了後、本日のヒヤリハット等を反省。
・見学等直接作業しない人は、作業圏内にいない。
・自分の技術・体力を過信しない。過去の負傷者はすべてベテラン。他人から見て安心で　きる作業を。
・危険と思われる場合はたがいに注意しあう。（自分のことはわかりにくい）
・その他

・・・

安全を脅かす要因
・心：過信、油断、面倒くさい等・・・自分、参加者の性格を知る
・技：技術・知識不足に対し労働安全衛生当別教育、内部自主研修、各種教本・取扱説明書等による勉強
・体：体力、疲労、年齢、体調を勘案